

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
小平・東大和・武蔵村山	小平市、東大和市、武蔵村山市、小平・村山・大和衛生組合	平成 27 年度～令和 3 年度	平成 27 年度～令和 3 年度

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成25年度)	目標 (割合※1) (令和4年度) A	実績 (割合※1) (令和4年度) B	実績/目標 ※2	
排出量	事業系 総排出量	8,759t	8,536t (△2.5%)	8,674t (△1.0%)	40.0%
	1 事業所当たりの排出量	0.85t	0.82t (△3.5%)	0.94t (10.6%)	△302.9%
	生活系 総排出量	84,261t	78,816t (△6.5%)	74,791t (△11.2%)	172.3%
	1 人当たりの排出量	188kg/人	171kg/人 (△9.0%)	154kg/人 (△18.1%)	201.1%
合 計 事業系生活系総排出量合計	93,020t	87,352t (△6.1%)	83,465t (△10.3%)	168.9%	
再生利用量	直接資源化量	19,712t (21.2%)	19,602t (22.4%)	20,323t (24.3%)	258.3%
	総資源化量	34,216t (35.2%)	33,759t (36.9%)	33,132t (38.4%)	188.2%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	—	—	—	
最終処分量	埋立最終処分量	146t (0.2%)	0t (0.0%)	0t (0.0%)	100.0%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

## 2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	生活系ごみの有料化	小平市	「市民の意識改革」を目的として生活系ごみ有料化を導入し、その結果として廃棄物の減量、資源物の分別徹底等を図る。	R1年度～R3年度	平成31年4月に生活系ごみの有料化（指定収集袋制）を導入。
			東大和市	家庭ごみ有料化を導入し、廃棄物の減量や排出量に応じた負担の公平化及び住民意識の改革を図る。	H27年度～R3年度	平成26年10月から生活系ごみの有料化（指定収集袋制）を導入し、継続実施。
			武蔵村山市	生活系ごみ有料化を導入し、一般廃棄物の排出抑制や再利用の促進、排出量に応じた負担の公平化、住民の意識改革等を図る。	H30年度～R3年度	令和3年4月に家庭ごみ有料化及び戸別収集導入実施計画（素案）説明会を実施し、住民への周知を図るとともに、令和3年10月に家庭ごみ有料化及び戸別収集導入実施計画を策定。 また、令和3年11月に条例を改正し、令和4年10月1日からの導入を決定。
	12	生ごみの減量	小平市	未利用食品の削減、生ごみの水切り、食物資源（生ごみ）循環モデル事業による資源化等を図る。	H27年度～R3年度	生ごみの減量化を図るための事業を実施。 ・フードドライブ ・生ごみたい肥化
			東大和市	生ごみの水切り等、市が市民や事業者に対して啓発を行う。	H27年度～R3年度	生ごみの減量化を図るための事業を実施。 ・水切りネット等の配布 ・生ごみたい肥化容器等購入の補助
			武蔵村山市	生ごみの水切り等によるごみの減量化を図る。	H27年度～R3年度	生ごみの減量化を図るため水切りネット等の配布を実施。

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの(つづき)		生ごみの減量(つづき)	武蔵村山市	生ごみの堆肥化モデル事業実施	H27年度～R3年度	委託業者により戸別収集した生ごみのたい肥化を行い、減量化を図った。平成30年度末をもって実証実験を終了し、後継事業として、生ごみ処理容器「ミニ・キエーロ」モニター事業を実施。
	13	環境教育、啓発活動	小平市	市民の学習や啓発活動を継続実施し、市民生活や事業活動の見直しを図る。	H27年度～R3年度	リサイクルセンター等の環境施設の見学を通じた環境教育を実施。出前授業・出前講座・講習会の実施。
		マイバック運動・レジ袋対策	東大和市	マイバッグキャンペーンの実施、環境学習プログラムの提供等、市民及び事業者に対して啓発を行い意識改革を図る。	H27年度～R3年度	環境イベント等でのごみ分別の啓発や市報等でのマイバッグキャンペーンを実施。
			武蔵村山市	3R意識を向上させるための広報の充実、エコバッグ等の利用促進、環境学習プログラムの提供等、普及啓発活動を図る。	H27年度～R3年度	環境イベント等でのごみ分別の啓発や出前講座を実施。
	14	助成	小平市	集団回収等へ補助金の交付を行う。	H27年度～R3年度	集団回収する自治会等へ補助金を交付。
			東大和市	集団回収等への活動支援を行う。	H27年度～R3年度	集団回収する自治会等へ補助金を交付。
			武蔵村山市	集団回収団体への奨励金の交付を行う。	H27年度～R3年度	集団回収する自治会等へ補助金を交付。

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
処理体制の構築、 変更に関するもの	21	容器包装プラスチックの資源化	小平市	3市共同資源物処理施設整備に伴い、 全量容器包装プラスチックの資源化を図る。	R1年度～R3年度	小平・村山・大和衛生組合市資源物中間処理施設の稼働に併せ、一部の容器包装プラスチックの可燃ごみ処理を全量容器包装プラスチックの資源化を実施。
	22	回収ルートの変更	東大和市	行政回収を中心としたリサイクルから、 集団回収の推進等、民間回収ルートを活用した資源化を図る。	H27年度～R3年度	拡大生産者責任に基づいた、生産者側における自社製品の回収の促進を実施。
	23	戸別収集	小平市	戸別収集の実施。	R1年度～R3年度	生活系ごみの有料化に併せて、戸別収集を実施。
			東大和市	戸別収集の実施。	H27年度～R3年度	生活系ごみの有料化に併せて、戸別収集を実施。
			武蔵村山市	生活系ごみ有料化と合わせて実施することを予定。	H30年度～R3年度	令和3年4月に家庭ごみ有料化及び戸別収集導入実施計画（素案）説明会を実施し、住民への周知を図るとともに、令和3年10月に家庭ごみ有料化及び戸別収集導入実施計画を策定。 また、令和3年11月に条例を改正し、令和4年10月1日からの導入を決定。
	処理施設の整備に関するもの	1	容器包装リサイクル施設整備	小平・村山・大和衛生組合	資源物中間処理施設（エコプラザ スリーハーモニー）整備	H28年度～R1年度

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
処理施設の整備に関するもの(つづき)	2	マテリアルリサイクル施設整備	小平・村山・大和衛生組合	不燃・粗大ごみ処理施設整備	H29年度～R9年度	令和2年3月一部竣工 ・不燃・粗大ごみ処理能力：28t/日 ・令和7年度から令和9年度にかけて環境啓発施設を整備する。
	3	容器包装リサイクル推進施設整備	小平市	既存施設の老朽化対策として、新たに施設(小平市リサイクルセンター)を整備し適正処理を行う。	H29年度～H30年度	平成31年3月竣工 ・ビン処理能力：12.6t/日 ・カン処理能力：5.6t/日
	4	エネルギー回収型廃棄物処理施設整備	小平・村山・大和衛生組合	(仮称)新ごみ焼却施設(エネルギー回収型廃棄物処理施設)整備	R2年度～R9年度	令和10年3月竣工予定(新炉は令和7年10月稼働予定) ・可燃ごみ処理能力：236t/日
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	1の計画支援	小平・村山・大和衛生組合	資源物中間処理施設(エコプラザスリーハーモニー)整備に係る計画支援	H27年度～H28年度	実施計画策定業務、発注支援業務、生活環境影響調査業務を実施。
	32	2の計画支援	小平・村山・大和衛生組合	不燃・粗大ごみ処理施設整備に係る計画支援	H27年度～H29年度	基本計画策定業務、発注支援業務、生活環境影響調査業務を実施。
	33	3の計画支援	小平市	小平市リサイクルセンター整備に係る計画支援	H27年度～H29年度	基本計画策定支援、測量、地質調査、地歴調査、土壌調査、生活環境影響調査、発注仕様書作成支援の各業務を実施。
	34	4の計画支援	小平・村山・大和衛生組合	(仮称)新ごみ焼却施設(エネルギー回収型廃棄物処理施設)整備に係る計画支援	H28年度～R2年度	基本計画策定業務、PFI導入可能性調査業務、環境影響評価業務、発注支援業務を実施。

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
その他	41	再生利用品の需要拡大事業	小平・東大和・武蔵村山地域各市	公共事業等へのエコセメント利用促進を図る。	H27年度～R3年度	小平・村山・大和衛生組合で発生した焼却灰を東京たま広域資源循環組合でエコセメント化し、当該エコセメントの道路整備事業等への活用を実施。
	42	廃家電のリサイクルに関する普及啓発	小平・東大和・武蔵村山地域各市	家電リサイクル法に基づく処理の普及啓発。	H27年度～R3年度	ごみ分別アプリ等による廃家電の分別・リサイクルの普及啓発を実施。
	43	不法投棄対策	小平・東大和・武蔵村山地域各市	分別区分の徹底とパトロール強化、街灯の設置。	H27年度～R3年度	不法投棄されやすい場所への防止看板を設置するとともに、職員による巡回パトロールを実施。
	44	災害時の廃棄物処理に関する事項	小平・東大和・武蔵村山地域各市	災害廃棄物処理計画の策定	H29年度～H30年度	災害廃棄物処理計画を策定。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小平市：平成29年度</li> <li>・東大和市：平成30年度</li> <li>・武蔵村山市：平成30年度</li> </ul>

### 3 目標の達成状況に関する評価

ごみ処理の目標に対する達成状況については、以下のとおりである。

#### 1 排出量について

- (1) 事業系ごみについては、総排出量の目標値 8,536t に対し、実績が 8,674t であり、微増ではあるものの目標を達成することはできなかった。また、1事業所当たりの排出量の目標値 0,82t に対し、実績が 0,94t であり、大幅に目標を達成することはできなかった。
- (2) 生活系ごみについては、総排出量の目標値 78,816t に対し、実績が 74,791t であり、概ね目標どおりに達成することができた。また、1人当たりの排出量の目標値 171 kg/人に対し、実績が 154 kg/人であり、大幅に目標を達成することができた。

#### 2 再生利用量について

- (1) 直接資源化量については、排出量に占める割合の目標値 22.4%に対し、実績が 24.3%であり、概ね目標どおりに達成することができた。
- (2) 総資源化量については、排出量と集団回収量の合計に対する割合の目標値 36.9%に対し、実績が 38.4%であり、概ね目標どおりに達成することができた。

#### 3 エネルギー回収量について

令和7年10月からエネルギー回収を実施する予定であるため、目標及び実績はない。

#### 4 最終処分量について

埋立最終処分量については、排出量に占める割合の目標値 0%に対し、実績が 0%であり、目標どおりに達成することができた。

以上のことを踏まえ、目標を達成できなかった指標について、要因分析及び目標達成に向けた改善計画書を作成する。

#### (都道府県知事の所見)

事業系について、総排出量は減量となったが目標値には達しておらず、1事業所当たりの排出量は現状を上回った実績量となっている。については、次期計画において目標達成となるよう、事業者に対する分別や排出抑制等の更なる指導・普及啓発が必要と考える。

生活系については、総排出量及び1人当たりの排出量ともに目標達成となった。これは、構成各市及び小平・村山・大和衛生組合による生活系ごみの有料化や環境教育・啓発活動等、発生抑制に向けた施策の効果であると考え。

また、再生利用量についても直接資源化量、総資源化量ともに目標達成となっており、これはプラスチックの資源化やリサイクル施設整備等の施策の効果であると考え。

小平・東大和・武蔵村山地域においては、ごみ発生抑制及び減量化に向け、ホームページや広報等での情報発信や環境学習、家庭用ごみ減量器具等への補助などを行っており、今後もこうした施策を継続的に実施することで、ごみ発生抑制及び減量化が進むことに期待する。